

# CONTENTS

◆ 監修のことば 大田 えりか	iii
◆ 推薦のことば 南宮 湖	v
◆ はじめに	vii
◆ 本書の使い方	xi
◆ 略 語	xv

## I 章 システマティックレビューを始める前に

1

01 システマティックレビュー、メタアナリシス、Minds、GRADE	3
02 システマティックレビューの流れ	4
03 クリニカルクエスションの設定	6
04 アウトカムの設定	8
05 検索式	11
06 プロトコール登録	15
07 報告チェックリスト	17
08 異質性と固定 / 変量効果モデルの選択	20

## II 章 治療のメタアナリシスに必要な統計学

25

01 変数の種類	27
02 二値変数のアウトカム (リスク比、オッズ比、リスク差)	29
03 重回帰分析とそのほかの多変量解析	34
04 人工知能、機械学習、深層学習	38
05 生存時間解析	42
06 平均差	44
07 標準化平均差	46
08 標本集団と母集団、標準偏差と標準誤差	48

09	データ変換	50
10	傾向スコアマッチング	54

### Ⅲ章 治療対比較のメタアナリシス

57

01	論文選択	59
02	RevMan のデータ入力形式概論	62
03	リスク比・オッズ比のメタアナリシス	65
04	リスク差のメタアナリシス	68
05	ハザード比のメタアナリシス	69
06	平均差のメタアナリシス	71
07	標準化平均差のメタアナリシス	73
08	データ抽出	76
09	フォレストプロットの読み方	77
10	フリー統計ソフト“R”の始め方	79
11	出版バイアス	81

### Ⅳ章 RevMan による治療対比較のメタアナリシス例題

87

01	例題 1	89
02	例題 2	93
03	例題 3	97
04	例題 4	99
05	例題 5	101
06	例題 6	103
07	例題 7	107
08	例題 8	109
09	例題 9	113
10	例題 10	115

01	推奨決定の流れ	119
02	研究レベルのバイアスリスク	122
03	アウトカムレベルのエビデンスの確実性	127
04	アウトカムレベルのエビデンスの確実性（不精確さ）	131
05	アウトカムレベルのエビデンスの確実性《例 1》	134
06	アウトカムレベルのエビデンスの確実性《例 2》	137
07	アウトカムレベルのエビデンスの確実性《例 3》	139
08	アウトカム全般のエビデンスの確実性	141
09	推奨決定	143

01	ネットワークメタアナリシスとは	149
02	R によるネットワークメタアナリシス	153

01	診断精度とは	159
02	R による診断精度のメタアナリシス	164
03	診断精度研究の評価	168

01	相関係数とは	175
02	R による相関係数のメタアナリシス	179

## IX章 そのほかのメタアナリシス 181

01	観察研究（2群）のメタアナリシス	183
02	観察研究（単群）のメタアナリシス	184
03	累積メタアナリシス	187
04	個別患者データによるメタアナリシス	190
05	メタ回帰分析	192
06	代理エンドポイント評価のシステマティックレビュー	196

## X章 メタアナリシスの結果の解釈 201

01	帰無仮説	203
02	P値	204
03	臨床的に意味のある最小差	207

◆	おわりに	211
---	------	-----

## 索引 213